

THS-3/THS-4

トークバックヘッドフォン シリーズ コメンタリーボックス



特徴：

- 2つの入力信号を片耳または両耳のヘッドフォンにアサイン可能
- XLR または1/4インチ TRS ジャックのバランス入力またはアンバランス入力
- THS 3 のボリュームコントロールは、左右のヘッドフォンレベルを個別に調整
- THS 4 のボリュームコントロールは、入力 1 と入力 2 のレベルを左右の耳で調整可能
- 放送用音声の信頼性を高めるパッシブ・マイクアウト
- マイク出力の切り替えは完全に無音
- レベル調整可能なアクティブ・ラインレベル・トークバックアウト
- Mic On、Cough、Talkback の各スイッチでコントロール可能
- 1/4 インチ TRS または 3.5mm のヘッドフォン・ジャック
- 12 VAC 電源アダプタ付属

Whirlwind THS シリーズは、高品質のヘッドフォンアンプと様々なマイクコントロールのオプションを、卓上型の頑丈な筐体に搭載したスポーツアナウンサー向けコメンタリーボックスです。アナウンサーが資料などをめくっている最中でも簡単にコントロールボタンにアクセスできるよう使いやすく設計されています。

THS3 と THS4 の機能は、ボリュームコントロールの操作方法以外は同じです。THS3 のボリュームコントロールには「LEFT」と「RIGHT」と表記されており、ヘッドフォンやイヤフォンの L と R を個別に調整できます。THS 4 のボリュームコントロールには「INPUT 1」と「INPUT 2」と表記されており、インプットアサインスイッチで選択された、その入力に対して両耳で同じレベルが設定されます。

THS3 と THS4 は、スポーツアナウンサーのための万能型コンソールです。メインマイクとトークバックマイクの両方の出力を備え、3つのスイッチで制御します。ラッチ式のマイクオン/オフスイッチは、マイク出力に信号を接続します。スイッチは、マイク出力が生きているときには赤く点灯します。コンデンサーマイク用のファンタム電源(10VDC)は2種類を搭載しており、トークバックがアクティブ化されても、シームレスな切り替えが可能になります。ファンタム電源と T 電源を選択できる 3 ウェイススイッチは、誤ってオフにしてしまわないように凹型になっています。モーメンタリの COUGH スイッチを押すと、マイクアウトとトークバックアウトの両方がミュートされます。

THS3 と THS4 に搭載されているトークバック回路は、ブースでのコミュニケーションのための、オンエアに影響しないチャンネルを提供します。アナウンサーのマイクはプリアンプとラインドライバを介して送られ、ラインレベルでトークバック出力に信号が送られます。トークバックラインに送られる音声を微調整するためのレベルコントロールが装備されています。TALKBACK のモーメンタリ・スイッチはトークバック出力にマイクを接続して MIC OUT をミュートします。トークバックスイッチが押されている間は緑色に点灯します。

THS3 と THS4 のヘッドフォン部には2つの入力を装備しています。それぞれの入力は、左耳、右耳、または両耳に割り当てることができます。入力信号は、バランスモノラルかアンバランスステレオのいずれかです。リアパネルのスイッチで適切なモードを選択します。入力端子は3ピン XLR と 1/4 インチ TRS を装備し、柔軟な接続が可能です。ヘッドフォンのアンプは、競技場の観客の大きな歓声の中でも聞こえるパワフルな歪みのない音声を提供するように設計されています。インピーダンスが 30~600Ω のヘッドフォンであれば最大音量でドライブできます。ほとんどのアナウンサー用のヘッドセットは 100~600Ω がほとんどです。ヘッドセットの接続は、マイク用の3ピン・メス XLR を介して入力されます。また、ヘッドフォン用に、1/4 インチと 3.5mm の TRS ジャックが用意されています。

電源は、付属の 12VAC アダプタでユニットへ供給されます。フロントパネルの緑の LED は、電源が入っていることを示します。ダイナミックマイクを使用している場合、本体の電源が切れてしまった場合でも、メインの MIC OUT は出力されます。

ベストエックオーディオ株式会社



コントロールとコネクター：

- ① MIC ON スイッチは、押し込むとマイクがオンになるラッチ式です。点灯していればマイクが生きていることを示します。
- ② MIC INPUT コネクターは、ヘッドセットマイクを COUGH と TALKBACK の回路を介して、MIC OUT コネクターから出力します。
- ③ コンデンサーマイク：PHTM(▲)、ダイナミックマイク：OFF(-)、エレクトレット：T(▼)
- ④ PHONES のジャックはヘッドセットのイヤフォンを接続します。¼インチと 3.5mm の TRS ジャックが装備されています。チップは L、リングは R となります。
- ⑤ COUGH スイッチはモーメンタリ式で、押されている間は、マイクとトークバックの両出力がミュートされます。
- ⑥ THS3：LEFT ボリュームコントロールは、イヤフォン 左のレベルを調整します。
THS4：INPUT 1 ボリュームコントロールは、入カアサイン・スイッチに供給される INPUT 1 のレベルを調整します。
- ⑦ 入カアサイン・スイッチは、INPUT 1 と 2 を、左右、または両方のイヤフォンにルーティングします。
- ⑧ THS3：RIGHT ボリュームコントロールは、イヤフォン右のレベルを調整します。
THS4：INPUT 2 ボリュームコントロールは、入カアサイン・スイッチに供給される INPUT 2 のレベルを調整します。
- ⑨ TALKBACK スイッチは、TALKBACK OUT にヘッドセットマイクを出力し、メイン MIC OUT をミュートします。MIC ON スイッチは、トークバック出力には影響を与えません。
- ⑩ 電源 LED は、本機に電源（12VAC、600mA）が供給されているときに点灯します。
- ⑪ MIC OUT コネクターは、ヘッドセットマイクからの入力をマイクレベルで出力します。
- ⑫ TALKBACK OUT はトランス付・バランスのラインレベルの XLR コネクターで、送られるトークバック信号のレベルを調整するレベルコントロールを装備しています。トランスはアイソレーションを行います。必要に応じて、ピン 1 のグラウンドを TALKBACK OUT から切り離すためのジャンパーが内部に装備されています。
- ⑬ INPUT MODE スイッチは、バランスモノラル信号か、L-R のアンバランスステレオ信号の選択を行います。
- ⑭ INPUT1 と 2 は、メスの XLR と 1/4 インチの TRS ジャック間で、ピン 2 をチップに、ピン 3 をリングに、ピン 1 をシールドに平行で配線されています。どちらのコネクターもバランスモノラルまたはアンバランスステレオの入力信号を入力することができます。適切に動作するように Input Mode スイッチを設定してください。アンバランス・ステレオモードでは、4 つの入力コネクターがすべて平行に接続されているためループスルー機能が働く可能性があります。
- ⑮ 電源ジャック

2022年8月現在 仕様に関して予告なく変更される場合があります。